

2年生へのゼロ学期がスタートしました!

15日間の冬休みが終わり、いよいよ3学期。9日にはみなさんの元気な顔を久しぶりに見ることができて、嬉しくなりました。寒さは厳しいけれど、またみなさんとの元気で充実した日々が始まったぞ! 私も負けないように頑張ろう!! そんなパワーが湧いてきました(^)

さて、始業式で校長先生をはじめ学年代表として話をしてくれた今村芽衣子さんの話にもありましたが、3学期は2年生へのゼロ学期。4月からステップアップするための準備の期間です。みなさんはどんな準備をして「先輩」になりますか? 「今できること」、「今すべきこと」は何でしょうか。学習においても部活動においても、学校で過ごす時間においてもプライベートな時間においても、「今できること・すべきこと」があるはずです。そこから目を背けることなく一人ひとりがレベルアップして、4月を迎えましょう。そして、「カッコイイ先輩」として押原中学校2年目をスタートさせましょう。「今はちょっと…」「明日から頑張るから…」の気持ちは吹っ切って…

Do your best, everyone! You can do it! We can do it!



先生方の冬休みの思い出・体験談(中高生時代)

～ 思い出話でちょっとほっこりタイム ～



本当なら2学期末の学年集会でそれぞれの先生から直接話してもらいたかったのですが、インフルエンザの流行のため、学年そろっての学年集会が難しくなってしまう、この通信に載せさせてもらうことにしました。

さて、**A**～**K**のどのエピソードがその先生からのものでしょうか。よく読んで考えてみてください。みなさんはいくつ当てられるでしょうか(^)

A 中学・高校時代のクリスマスは、毎年、砂浜を全力疾走するようなどても厳しい合宿に参加していました。冷たい風が吹く中で何度も走り続ける合宿は決して楽なものではありませんでしたが、仲間と声を掛け合い、励まし合いながら乗り越えた時間は、今でも心に残る大切な思い出です。また、その合宿を通して他県の代表選手とも友達になることができました。関東大会の会場で再会したときには、とてもうれしかったことを今でも覚えています。 **矢崎**

B 小中高校生時代、年末30日に毎年行う「餅つき」がとても楽しみでした。私は兄弟がいないので、年に2回(お盆と年末年始)いとこたちと会えるのがとても嬉しかったのを覚えています。

餅は、祖父母が前日から水でふやかしたもち米を窯でふかして、まだ粒々のもち米を杵でぺったんぺったんついて滑らかな餅にします。大きな板の上でコロコロ転がしながら作る鏡餅も、みんなでワイワイ言いながら作りました。

毎年の恒例行事でしたが、今となっては貴重な経験で、宝物のような思い出です。 **塚原**

C 中学生の頃の冬休みは、大掃除をして、紅白歌合戦を見た後、近くの神社に初詣に行くのが常でした。石油ストーブの上で甘酒を作ったり餅を焼いて食べたりしたのが懐かしいです。

クリスマスには父親の働く会社で「クリスマスパーティ」があったので、会社の人たちと話をしながらいろいろな珍しいお菓子を食べられるのを楽しみにしていました。その頃は「バターケーキ」でしたが・・・

お年玉も楽しみの一つでしたが、一銭も使うことなく貯金していたのだと思います。 **堀ノ内**

D 冬休みといえば「年越し」。いつも大晦日だけは0時まで起きてしようとするのですが、どうしても眠くなってしまい、気づけば年明けになってしまいます。今も変わりません。

新年には、甲府の愛宕神社へ毎年初詣に行っています。紙でわさわさとお祓いをしてもらうのは、いつまで経っても慣れません。

今も中学生時代も、そんなに変わりませんね。その時ならではの季節の行事を大切にしたいです。 **花形**

E 冬休みは毎年こたつに入り、ミカンを食べながら紅白を見ていました。紅白のあと23:45頃から放送される「ゆく年、くる年」での中継を見ながら、新しい年を迎える心の準備をしていました。元日は、初日の出を実家の2階から眺め、窓を開けて新しい年の空気を思い切り吸い込んでいました。

37歳になった今でも、年末年始はワクワクする気持ちがあります。物事の終わりと始まりはいつも特別なものだと感じています。 **向山**

G 中学生時代の冬休みは、大掃除を終わらせ、外にでて友達と遊ぶか、ランニング・ラケットを持って素振りをひたすらする生活が印象に残っています。当時は部活動がとても厳しく、レギュラーに入るのに必死でした。体力づくりに力をいれ、新しい年では結果を残せるために努力しました。

みなさんもぜひ、体づくりを心掛け、良いスタートができるようにして欲しいと思います。

新谷

I 我が家の冬休みといえば、箱根駅伝！縁あって幼い頃から山梨学院の陸上競技部を身近に感じていました。だから箱根駅伝が毎年の楽しみ。一本のタスキをつなぐドラマに毎年感動！勝負の結果以上に、目標に向かってひたむきに努力する姿、仲間を信じて最善を尽くす姿、それを献身的に支える仲間や家族の姿から、愛と勇気をもらいます。強い思いは限界を超える力になることをいつも教えてくれます。また新たな一年、素晴らしい年にしましょう！ **松明**

どのエピソードがどの先生のものなのか、わかりましたか？ みなさんより少し早く学生生活を経験している分、アドバイス豊富なエピソードばかりですね(^) 正解は…名前入りの通信を押原中学校のホームページにアップするので見て下さい(^) 保護者向け一斉メールも名前入りでお送ります。



F 冬休みといえば、毎年12月31日におせち&年越しそばの買い出しに母と出かけています。中学生ともなると、親子のコミュニケーションは減っていたのですが、この日だけは一緒に買い物に出かけていました。(今も変わらずですが…) しかし、高1の冬休みだけは出かけられませんでした。27日から高熱(おそらくインフル)で寝込み、結局箱根駅伝の2日目までずーっと寝込んでいました。二度とこんな冬休みにはしないと誓った苦い思い出です。 **渡辺**

H 大晦日。祖父母宅にいとこ家族全員で集合して大宴会。紅白歌合戦を見ながら、子どもたちは流行りの曲を大熱唱。大人たちは懐かしい歌を口ずさみ、とにかく楽しい夜の時間でした(演歌のターンになると子どもたちは座敷でプロレスごっこor恋バナ)。元日になると、お年玉をもらい、気持ちがホクホクに。ほっこりタイムも束の間。「お母さん預かるね」の言葉で母のポッケにイン。こたつに入れば、必ず誰かに蹴られるような人数でしたが、今思えば、そういうところで「コミュカ」が養われたのかな。

飯窪

J 自分が学生時代の冬休みといえば、ひたすらテレビを見ていた記憶があります。年末は「ガキ使」年始は「箱根駅伝」！特番が多くて毎日楽しみがたくさんありました。課題はいつも後回し・・・友達と最終日までヒーヒー言いながらやっていた気がします・・・課題は計画的に！後回しにするとつらいです！ぜひ皆さんは計画的に物事を進めてください！

杉山

K 冬休みの思い出で強く残っているのは「凧あげ」です。おじいちゃんの家で田んぼが大きかったのでそこで上げたのを覚えています。楽しかったのですが手を放して電線に引っかかってしまい、ものすごく怒られたのが懐かしいです。

他にも百人一首を覚えたり、コマを回したり、お正月だからこその遊びをたくさんやりました。ぜひ皆さんも遊んでみてください。凧あげするときは手を必ず放さないようにすることに注意してください！

中島